

長期ホストファミリー概要 (2009年改定)

〈食事〉

平日は朝・夕の2食、土・日は3食のご用意をお願いしております。食事代の補助として1ヶ月につき50,000円をお支払いさせていただきますが、これはあくまでも補助ですので、必ず毎日家庭の手料理をということではありません。

日が経つにつれて友達の数が増え、クラブに所属する者もいますので、そうした友達と食事をしたり、週末に外出したりすることもあるかと思えます。そのような場合は事前にホストファミリーに伝えるよう指導いたしておりますが、お買い物等の都合もあるかと思えますので、どういうふうにするかを初めによく学生にご説明ください。

〈部屋〉

特にベッドのある部屋・鍵付きの部屋である必要はありませんが、プライベートな空間として1部屋をご提供ください。

〈寝具について〉

パジャマは学生が持参いたします。(時期的には、Tシャツ・短パンで寝ることが多いです。)

入浴の際のバスタオルはホストファミリーでご用意下さい。(学生が持参する場合があります。)

〈電話の使用について〉

ほとんどの学生が携帯電話を購入しますので、ホストファミリー宅の電話使用はないと思います。

万が一、携帯電話を持っていなかった場合：

国際電話：大学構内の国際電話機からかけるよう指導いたしますが、時差等の関係でどうしても家からかけざるを得ないような場合は、コレクトコールをするか、プリペイドカードを使用してかけさせてください。(プリペイドカードはコンビニで購入が可能です。暗証番号を使うので、どの電話機からでもその電話機に課金されることなく通話できます。)

国内電話：国内電話と言っても、例えば県外の友達と長電話をしたり、そうでなくても電話を占領するようなことは控えるよう指導いたしますが、目に余る場合はホストファミリーから本人にご注意いただいかまいません。

〈入浴について〉

欧米出身の学生の場合、シャワーは朝浴びることが多いようです。入浴時間等については、初めにルールを決めて学生にご説明ください。

〈洗濯について〉

洗濯物をホストファミリーのものと一緒にしていただくか、それとも学生の分は本人にやらせるかについても、同じように初めに学生と話し合っておルールを決めてください。

〈門限について〉

大体何時頃までに帰ればよいかを最初に決め、遅くなったり、泊まりになるような場合は電話を入れるなどして連絡するようにご指導下さい。なお、ご家族が家を空けられることもあるかと思えますので、お手数ですが合鍵を一つ作ってお渡し下さい。

〈病気になった場合〉

緊急の場合以外は、まず大学にご一報ください。診察に際しては、ほとんどの学生は国民健康保険に加入していますので医療機関にかかる際には、必ず保険証を持たせてください。

また国民健康保険のほかにも、アメリカで加入している保険から後日返還を受ける場合は、必ず領収書を保管させてください。

〈その他〉

学生の出身国の習慣や常識の中には、多かれ少なかれ、日本とは違う部分もあります。学生がホームステイを希望するのは日本の家庭生活を体験するためであり、基本的にはホストファミリーのルールに従うべきですが、これを国際交流のプログラムであるという視点からとらえれば、ホストファミリーにとっても外国の文化を知るチャンスです。お互いの習慣が違う場合には、遠慮せずにそのことを伝え、よく話し合うようにしてください。

明治学院大学 国際交流センター (横浜)

Tel : 045-863-2190 Fax : 045-863-2191

E-Mail : cicey@mguad.meijigakuin.ac.jp